

| | | | |
|--|------------------------|-------------|------------------------------|
| 授業科目名： 医療社会学 | 教員の免許状取得のための 選択必修科目 | 単位数： 2単位 | 担当教員名： 細田 満和子 担当形態： 単独 |
| 実務内容 (実務家教員の場合) | | | |
| 科 目 | 教科及び教科の指導法に関する科目 | | |
| 施行規則に定める 科目区分又は事項等 | 教科に関する専門的事項 | | |
| 「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力） | | | |
| 授業のテーマ及び到達目標 (1) 社会学や医療社会学の基本的な考え方を理解する。 (2) 医療や福祉における諸主体（患者、患者家族、医療・福祉従事者、医療・福祉制度）に対する社会的な見方を理解する。 (3) 医療や福祉の諸問題を社会的に捉えることができる。 | | | |
| 授業の概要 医療や福祉は、人の生死といった倫理・哲学的な問題、患者／対象者やその家族や医療従事者などの人間関係、組織やシステムに関する問題、経済的問題、政策や患者運動といった政治的問題、法律問題など、さまざまな要素から成り立っていることを概説する。社会学の見方を利用して、多領域にまたがる複眼的な視点から、患者、家族、医療専門職、社会制度について見てゆく力をつける。 | | | |
| 授業計画 第1回：病いや障がいを持つということ 第2回：病人役割、障がい者役割 第3回：自明性の崩壊 第4回：生活史の切断と再編 第5回：病いと疾患 第6回：受動的能動 第7回：患者会とアドボカシー 第8回：病いや障がいを持つ人と家族 第9回：医療と福祉における専門職 第10回：「出会い」と「変容」、「障がい受容」の再考 第11回：専門職論 第12回：多職種連携 第13回：当事者参加 第14回：生活の質 第15回：病いや障がいと生きる意味 | | | |
| スクーリングでの学修 | | | |
| テキスト 細田満和子（2024）『脳卒中の社会学』青海社、978-4910548104 | | | |
| 参考書・参考資料等 細田 満和子（2012）『パブリックヘルス市民が変える医療社会—アメリカ医療改革の現場から—』明石書店、978-4750335230 細田 満和子（2021）『チーム医療とは何か 第2版—患者・利用者本位のアプローチに向けて』日本看護協会出版会、978-4818023611 | | | |
| 学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%） | | | |